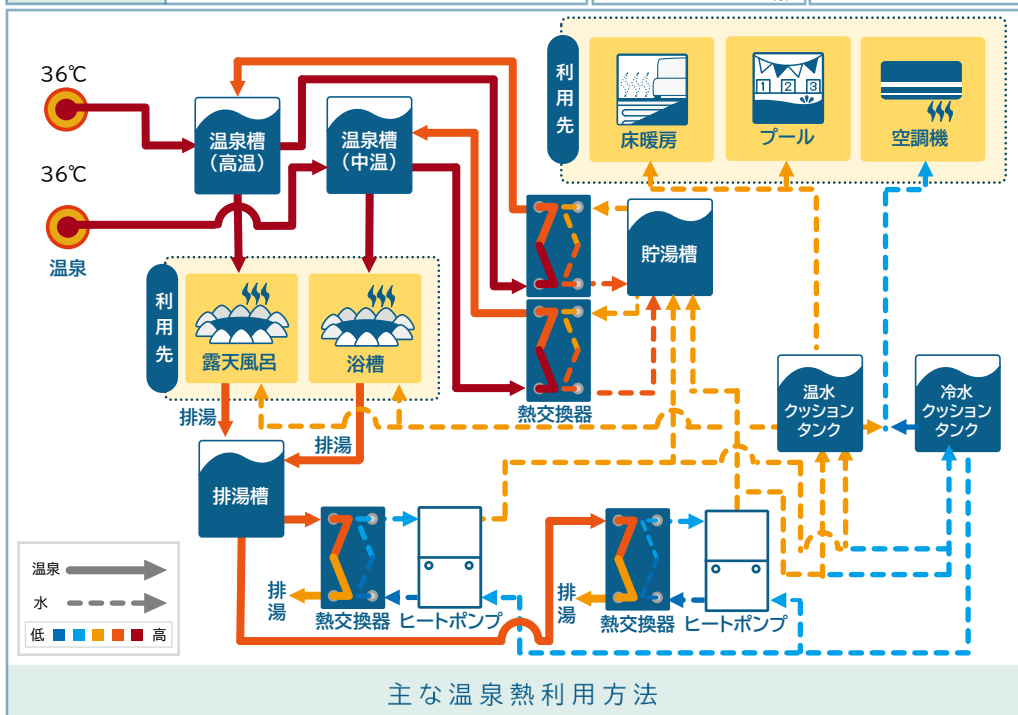


概要

温泉として利用した後の温泉排湯を排湯熱源ヒートポンプにより加温し、施設内温泉給湯やプール・床暖房用温水として利用している。



泉 質	単純温泉	CO₂ 排出量 削減 効果  59% 削減 ※ 1	エネルギーコスト 削減 効果  49% 削減 ※ 1
熱利用温度	排湯利用		
利 用 温 泉	既存温泉		
総 事 業 費	10億7,580万円（一部補助金あり）		



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

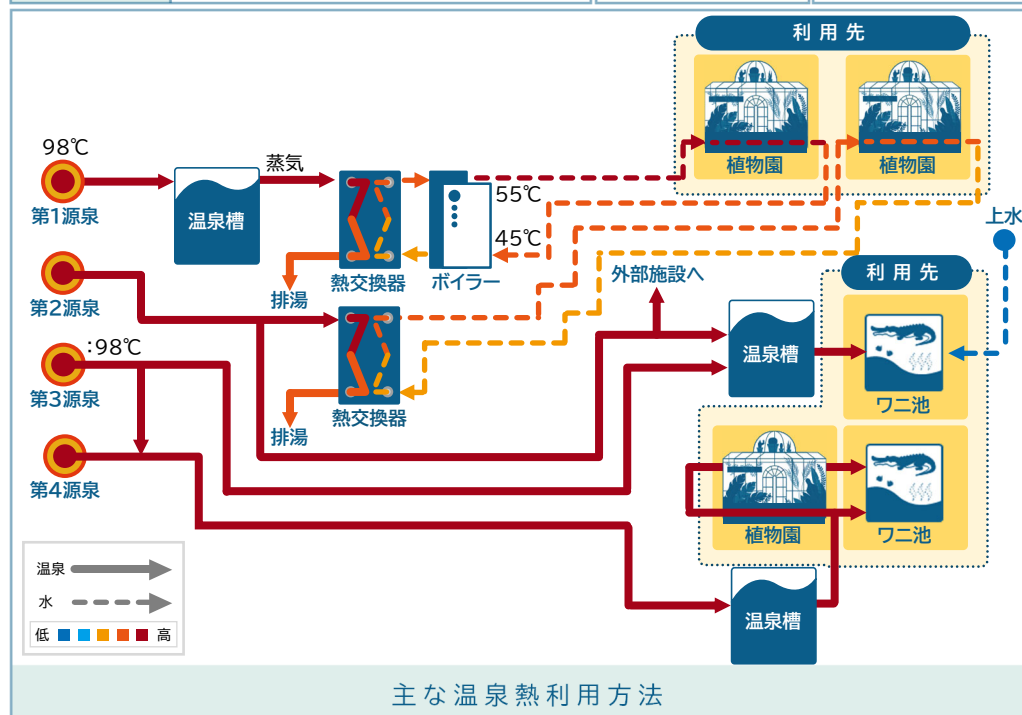
※1:CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、ヒアリング結果を基に算出した推定値(重油使用量に換算した場合の効果)です。

概要

温泉タンクに貯留、熱交換器を介しボイラーで昇温した温水(第1源泉)や、蒸気(第2源泉)を植物園の温室内にある配管に通し、これらの配管からの放熱により暖房を行っている。また、第3源泉を温泉タンクに貯留、調整池にて水と混合しワニ池保温に利用している。第4源泉は、温泉タンクに貯留、ボイラーを介し温室の暖房を行い、温度の下がった温泉や源泉を利用してワニ池保温を行っている。



泉 質	硫黄泉、塩化物泉	CO₂ 排出量 削減 効果  64 t-CO₂/年相当 削減 ※1	エネルギーコスト 削減 効果  67% 削減 ※1
熱利用温度	98℃		
利 用 温 泉	既存温泉		
総 事 業 費	500万円（補助金なし）		



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

※ 1:CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、ヒアリング結果を基に算出した推定値(重油使用量削減による効果)です。